

船川港町さんぽマップ

●船川港のあゆみ

船川港は、男鹿半島南岸部にあり、北西に位置する本山・真山などの西部山地が冬の季節風を防ぎ、天然の良港として古くから「風待ち港」(避難港)として利用されてきました。明治44年から本格的な築港が開始され、大正5年に国鉄船川線(現男鹿線)の開通、昭和6年に築港と現市街地の大部分が完成し、貿易港としての第一歩を踏み出しました。昭和14年の早山製油所(後の日鉱船川製油所)の操業、同40年の新産都市計画による木材コンビナートの建設で、さらに港湾は拡大しました。また、同57年に国家石油備蓄基地の立地が決定し、平成7年基地建設が完了しました。地域観光の新たな核としての役割も期待されています。

